

キラリ 熱中時間

「米と酒プロジェクト～米作り、そして日本酒へ～」



代表 戸口祐太さん 協働で生まれた 地酒「瞬喜道」

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍している個人や団体を紹介します。

「今年の『瞬喜道』は、すっきりと飲みやすく、日本酒を初めて飲むかたにもお勧めです。」
笑顔でそう話すのは、埼玉工業大学の学生プロジェクト『米と酒プロジェクト～米作り、そして日本酒へ～』(以下、プロジェクト)代表の戸口さんです。
プロジェクトでは5年前から市内の農家や酒造会社と協力して、日本酒造りに取り組んでいます。瞬喜道は、原料となる米の栽培から加工、完成した製品の販売までを学生と市民が協力して行う「協働で生まれた深谷の地酒」です。
プロジェクトメンバーは、この瞬喜道を一人でも多くのかたに味わってもらいたいと考えています。しかし、販売会などで



▲産業祭での瞬喜道のPR活動の様子。プロジェクトメンバーは一人ひとりと話をしながら、瞬喜道の味や魅力を知ってもらうため、PR活動に励んでいました

「瞬喜道」は、すっきりと飲みやすく、日本酒を初めて飲むかたにもお勧めです。」
笑顔でそう話すのは、埼玉工業大学の学生プロジェクト『米と酒プロジェクト～米作り、そして日本酒へ～』(以下、プロジェクト)代表の戸口さんです。
プロジェクトでは5年前から市内の農家や酒造会社と協力して、日本酒造りに取り組んでいます。瞬喜道は、原料となる米の栽培から加工、完成した製品の販売までを学生と市民が協力して行う「協働で生まれた深谷の地酒」です。
プロジェクトメンバーは、この瞬喜道を一人でも多くのかたに味わってもらいたいと考えています。しかし、販売会などで

は『工業大学が作る日本酒』として注目されるものの、日本酒の味の伝え方がうまくできず、自分たちには商品PR力が不足していると感じていました。
そんな時メンバーたちは、深谷の地酒を紹介・販売する産業祭でのイベントへ、いつも酒造りでお世話になっている丸山酒造をはじめとした市内の酒造会社と共に参加することになった。
「プロジェクトの活動は、学生だけの集まりでは決して得られない、貴重な体験ばかりです。」と話す戸口さん。メンバーたちは、瞬喜道を支える多くの方々への感謝を胸に、これからも瞬喜道と共に成長できるように、学びと努力を重ねていきます。

TOPICS 1 子どもたちの健やかな成長を支える 新たな支援制度を平成29年度から始めます

『ふっかちゃん子ども福祉基金』を活用して、子どもたちの健やかな成長を支える新たな支援制度を、平成29年度から開始します。
ふっかちゃん子ども福祉基金とは、次代を担う子どもたちの健やかな成長を支える事業に活用するために設置した基金で、財源は皆さんからの寄付金です。

1 小学生の通学用ヘルメット購入費用を助成

近年、市内で交通事故の発生件数が増加し、2年連続で『交通事故防止特別対策地域』に指定されました。また、全国で登校中の児童が巻き込まれる交通事故が後を絶ちません。そのため、市内小学校に在籍する全ての小学生の通学用ヘルメットのイメージ。ヘルメットには市イメージキャラクター『ふっかちゃん』のシールが貼られています



▲ヘルメットのイメージ。ヘルメットには市イメージキャラクター『ふっかちゃん』のシールが貼られています

2 遺児のための就学支度金

不慮の事故などにより遺児となった児童の経済的負担軽減のため、遺児が小学校・中学校に入学する際に、就学支度金5万円を給付します。
問い合わせ 子育て青少年課 ☎574-6064(6)

3 児童養護施設などからの支援が終了した子どもへの自立支援

市内の児童養護施設や里親などの支援を受けていた児童が、年齢到達によって支援が終了して、就職や進学をする時に、円滑に自立した生活を開始できるように、支度金5万円を支給します。
問い合わせ 子育て青少年課 ☎574-6064(6)

TOPICS 2 『未来の深谷』に対する思いを次の計画へつなげる 『ふかやワールドカフェ』を開催しました

現在、市では将来のまちづくりの基本となる『第2次深谷市総合計画』(以下、総合計画)を策定しています。

総合計画は、市政・地域づくりの最上位に位置付けられる重要なものです。そこで、市民の皆さんに市の将来に対する思いを伺い、総合計画の策定作業に生かすため、12月10日に『ふかやワールドカフェ』を開催しました。

『ワールドカフェ』とは、カフェでくつろぐような雰囲気の中で、テーマを決めて語り合っ場のことで、まるでおしゃべりをするように

『ワールドカフェ』の様子



▲グループに分かれて行われた話し合い。お菓子やお茶などを用意して、食べたり飲んだりしながら話し合うことで、初対面でも話しやすい雰囲気を作り出せるのもワールドカフェの特徴の1つです

に、さまざまなアイデアを出したり、語り合ったりするための話し合いの手法です。
参加者は事前に無作為に選んだ20〜70歳代までの市民59人です。

当日は、市の現状と課題の説明を聞いた後に、数人のグループに分かれて、途中でメンバーを入れ替えながら、深谷に住んで良かったと思うこと、10年後の深谷はどんなまちになって欲しいかなどをテーマに、活発な話し合いが行われました。

問い合わせ 企画課 ☎574-8006(6)



▲出されたアイデアを分野ごとに分けて掲示し、参加者同士で共有しました

ふっかちゃんの日常から 深谷が見えてくる ふっか散歩 ④ 保健センター Part1

保健センターに来たよお！ここでは、みんなの健康を守るために、健康相談や健診などを行っているんだって。去年の春には、授乳室や幼児用トイレが新しくできたっていうから、さっそく見てみよう！



▲ここが授乳室だよ。おむつ替えに使えるベビーベッドや、カーテンで仕切れる個室スペース、ミルクを作る時に使えるお湯が出る機械があって、いつでも、気兼ねなく、快適に授乳やおむつ替えができるお部屋になっているよ。



▲ここは幼児用のトイレだよ。ふっかちゃんのイラストもあって、明るくてとってもキレイなトイレなんだ。幼児専用のトイレのほか、大人と一緒に使える個室もあるよお。子どもが安心して使えるトイレができて良かったあ〜！

ふっかちゃんのつぶやき

1月29日(日)は瀧宮神社で深谷ねぎまつり♪当日はネギ！ネギ！ネギ！のネギざんまい！！ぜひ遊びに来てね♪Y(o)u(0)w(0)Y

